

令和6年2月19日

内子町環境マネジメント推進本部長

内子町長 小野植 正 久 様

内子町環境マネジメントシステム監査チーム

主任監査員

副主任監査員

副主任監査員

小野 里政美

多比良 康彦

片倉 明子

環 境 監 査 報 告 書

令和5年度うちエコ監査の結果について、以下のとおり報告します。

1. 監査日程 推進本部・事務局：令和6年1月23日（火）
実行部門等 ：令和6年1月30日（火）・2月1日（木）
全体協議 ：令和6年2月2日（金）
2. 監査対象 環境マネジメント推進本部および事務局
実行部門等（別紙）
3. 監査方法 監査員による聞き取り及び現場確認
4. 監査内容 環境基本計画（後期計画）にかかる目標の達成見込み
エコオフィスの取り組み状況
町民等との連携および職員の環境意識の醸成 など

(1) 総合所見

令和5年度のうちエコ監査は、推進本部・実行部門18部署・事務局、計20の部署等を対象に実施しました。

昨年度に続き、監査時間を30分に限定しましたが、各部署等の長及びエコアップ推進員だけでなく、一般職員への質問や現場見回りを4年ぶりに復活し、コロナ禍より、一歩踏み込んだ監査が出来たと思います。対象部署等の皆さまのご協力に深く感謝申し上げます。

評価の方法は、取り組みの内容や目標の達成状況について、☆（特に優れた取り組み）◎（良好な取り組み）○（取り組んでいる）△（改善要望事項）×（勧告事項）の5段階で判断しました。その結果、☆7個、◎20個、△1個、×0個となりました。

全体を通して、従来から取り組んできている基本的な環境対策がおおむね定着し、着実に実践されている様子が見えてきました。

その中で「☆」となった部署については、従来の手法にとらわれず、斬新なアイデアを取り入れたり、地域と連携して、より深く、高いレベルで積極的に取り組みを展開したりしている点を高く評価しました。

また、環境基本計画の数値目標が容易に達成可能であったり、エコオフィスの独自目標が毎年同じ内容で設定されていたり、ややマンネリ化している傾向も伺えます。

来年度は新しい目標を1つでも見直していただき、今一度「エコロジータウン内子」の理念に立ち返り、より一層の定着・発展を望みます。

さらに、2050年の脱炭素社会実現を目指すという国の方針により、自治体や家庭に対してこれまで以上にハードルの高い温室効果ガス排出量の削減目標が示されています。今後は自治体だけではなく事業者や家庭を巻き込んで活動を進めていくことがより重要になると考えます。

今後うちエコを進めていくなかで、事務局にはより一層の情報発信に努めていただきたいと思います。

うちエコを通して、内子町の取り組みが町民により広く深く浸透し、家庭や職場などでも生かされて、町全体でエコロジータウン内子の実現につながっていくことを期待します。

(2) 評価結果

① 推進本部

NO	設問内容	評価						
		☆	◎	○	△	×	／	—
1	町長・副町長・教育長／方針の設定・周知		1					
2	町長／環境基本計画の推進（協議・指示）			1				
3	町長／EMS の運用・改善			1				
4	副町長／エコオフィスの推進		1					
5	副町長／エコオフィスの推進			1				
6	教育長／環境教育の推進（環境学習）			1				
7	教育長／環境教育の推進（地域の環境活動）			1				
合 計			2	5				
達 成 率（○以上の項目／全 7 問）		100%						

②実行部門

NO	設問内容	評価						
		☆	◎	○	△	×	／	—
1	後期個別政策シートの内容と進捗状況		1	5			12	
2	独自目標の内容と達成見込、その改善	1	4	13				
3	エコオフィスの推進（光熱水量全般）			15			3	
4	エコオフィスの推進（グリーン購入）			18				
5	町民や事業者等との連携	1	2	14			1	
6	公共事業における環境配慮		2	7			9	
7	職場での情報共有	1	1	15	1			
8	全般（その他取り組みの工夫）	3	9	6				
9	ゴミの削減について	1	1	16				
10	地域環境への関心			18				
合 計		7	20	127	1		25	
達 成 率（○以上の項目／全 10 問×18 部署） ※該当なし項目（—）を除く		99%						

③事務局

NO	設問内容	評価						
		☆	◎	○	△	×	／	—
1	基本方針の周知・理解			1				
2	環境に関する定期的研修			1				

3	首長との協議			1				
4	目標達成状況の公開			1				
5	指摘事項の改善			1				
6	全般（取り組みの工夫・改善）			1				
7	システム全般（うちエコの運用）		1					
8	システム全般（監査の工夫・改善）			1				
9	システム全般（監査の評価）			1				
10	システム全般（監査の報告）			1				
合 計			1	9				
達 成 率（○以上の項目／全 10 問） ※該当なし項目（－）を除く		100%						

（３）個別所見

① 特に優れた取り組み（☆）

部署名	設問	評価理由
保健福祉課	5	所管施設が指定管理制度に移行する際、受託事業者に対して、これまで行っていた古紙の分別・リサイクルを継続していただくよう協力を依頼。その後、同事業者の他施設でも古紙の分別・リサイクルを実施するようになるなど、良い効果が表れていました。 毎年度実施している実態調査について、紙帳票の取りまとめや集計、保管等にかかる手間を減らすことを目的に調査システム（kintone）を導入。業務の受託事業者と連携し、調査員がデータを入力・送信するようにしたことで、用紙の削減や業務効率の改善を図っていました。
保健センター	7	月 1 回開かれる全員参加のセンター会で、環境だけでなく、その月のすべての研修を 11 名全員参加で再講習し、情報共有していました。年度当初に設定する独自目標も職員全員で協議し、住民目線を取り入れたものに決められていました。 再講習で、全員のエコ意識を統一して、高水準で定着させていました。
五十崎児童館	2	廃木材を利用した遊びに、県林業関係等の部署・業者と連携して環境学習ネットワークの拡大に努め、自治センター主催の環境イベント（水生生物観察会、野鳥観察会など）にも積極的に参加し、高水準の設定目標を達成していました。 また、一般的な環境教育に加え、山の大切さなどの地球環境の根底についても学べるよう取り組んでいました。

	8	子どもたちと見学に行き一緒に学んだことを職員がまとめ、壁に掲示することで訪れた保護者などへ周知（バイオマス発電所、浄化槽のしくみ）し、職員自身が分かりやすくまとめることで、理解を深めることにも繋がっていました。 また、子どもにも分かりやすいごみの分別表示（ゴミ箱のふたへ掲示）の工夫がありました。
内子小学校	8	2年生が役場などの地域の職場に環境の取り組みや仕事の内容を聞き取りに行き、学習する「職場インタビューとエコ見回り」を長年継続されています。また、環境団体だけでなく、新たにコミスクの委員や地域コーディネーター等と連携して、地域一体の環境学習や活動に全学年で取り組んでおられ、模範となる活動ができていると感じました。
	9	職員室のゴミ箱にゴミ持ち帰りの啓発の蓋をするユニークな取り組みがあり、ゴミの持ち帰りが徹底されていました。
立川小学校	8	節水節電、ゴミ分別等に全教職員・児童が共通意識を持って取り組み、落ち葉の腐葉土化も長年継続されていました。 環境学習では、水生生物・バードウォッチング、自治会主催の水辺の集い等、自然と関わりながら地域を知る活動に繋がっていると感じました。また、3月の遠足で地域の方々とふれ合い竹林整備を兼ねて、全校児童でたけのこ掘りや校内で原木しいたけを栽培するなど、食育にも力を入れていました。 バードウォッチングで、愛媛で珍しい鳥を観察出来て、児童の刺激となり、諸活動を保護者・地域に学習発表で報告したり、HP、児童の手作り壁新聞で発信したりしていました。

② 良好な取り組み（◎）

部署名	設問	評価理由
推進本部	1	令和5年3月に宣言された“ゼロカーボンシティ宣言”を高く評価します。2050年までの達成はとても大変であると思いますが、頑張っていたきたいと思います。
	4	会議・学習会について、開催時期や内容について一歩踏み込んだ感想がありました。 常に問題意識を持って、こうすればもっとよくなる、ここはよかったという意見は次に役立ちますし、全国の優良事例と先行事例の紹介や、研修への意気込みも頼もしかったです。
総務課	1	空き家を資源と捉え、空き家バンク登録件数は毎年目標達

		成で推移。景観行政では、令和5年度も大型店舗の看板配慮の事例があり、住宅の板塀や生け垣と併せて普及実績が浸透。地域づくりの視点を盛り込んだ景観フォーラム（2月予定）の開催、優良事例表彰や協力企業の紹介を広報等で発信し、町民・事業者理解や協力を求めながら、啓発を地道に継続していることが、着実に成果に繋がっていました。
	8	タブレット、電子決済の導入、情報系・機関係 PC の集約等、継続してペーパーレス・省エネ化を実現。EV・電動自転車の計画的導入やノート PC 化の構想など、ハード・ソフトの両面でスマートオフィス化を推進。若手職員が中心となって、環境保全と SDGs の視点を盛り込んだ総合計画の策定に尽力していました。
会計課	8	ゼロカーボンシティ宣言を目につくところに貼ったり、愛媛県小中高生の環境啓発コンクール入賞作品を回覧したり、意識啓発に工夫がありました。
うちこ福祉館	8	職員はガラス窓の新聞紙ふきや、外回りの掃き掃除を日々実施し、環境衛生美化に取り組んでいました。利用者は、えひめ AI-1 の利用率が高く、廃油等の回収にも協力。職員と利用者が、一体となって環境整備に取り組んでいる地域全体の意識と実行力の高さを感じました。
保健福祉課	8	ねんりんピックで、子どもが描いた応援旗や幟を、ごみとして廃棄するのではなく、各チームに声をかけ記念品として持って帰ってもらっていました。 毎日大量に出る機密文書を焼却処分せず、シュレッダー処理しリサイクルすることが当たり前とする意識が身についていました。
保健センター	2	独自目標を全員で協議して作成し、目標設定の際には住民視点に合わせることを心掛けていました。
	8	大きい窓をプラダンで保温することで、電気・燃料の使用以外で室内環境をよくする工夫もできており、水道代や電気代を毎月欠かさずチェックし、漏水の早期発見へ繋がっていました。また、エアコンをつけるタイミングをずらし、最大電力を上げないように心掛けていました（特に朝一、冷えているとき）。
建設デザイン課	6	新大瀬自治センターに町有施設として、初めての太陽光パネルを設置予定で、従来と比べ 1/2 の省エネ達成が見込まれ

		ていました。
町並・地域振興課	8	イベントポスターに地元産和紙を使うなど地域のものを使用し、イベント時の靴袋の持参の呼びかけなど、エコに配慮された取り組みがされていました。また、紙主流のパンフレットも、電子化を検討しているとのことでした。 サイクリング振興に力を入れており、観光協会でe-バイクを33台導入（県下で今治に次ぐ2位）し、サイクリングツアー（月1回）は、町の魅力を広めるとともに、町民等の健康づくりにも繋がっていると感じました。
自治・学習課	8	文化創造センターのLED化を行った結果、電気使用量、使用料ともに減少し、浮いたコストでリース料を賄えた上に、照明が明るくなって施設の環境も整備されていました。
五十崎児童館	7	デスクネッツ、紙を使用した回覧に加え、LINEを使用した情報共有を行い、確認忘れがなく、紙ごみが削減できていました。従来の方にとらわれず、職員の環境や職務体制に合わせた情報共有の方法を模索している点を評価します。
内子東自治センター	2	リユースをテーマにしたフリーマーケット（参加団体：26）を開催したり、エネルギー塾（太陽光をテーマにした学習会）を主体的に開催したり、環境イベントに熱心に取り組まれていました。
	8	内子東自治センター便りで呼びかけ、いらなくなった古本を回収して、そこからきれいな本を集めて図書コーナーの作成、貸し出しまで行い、リユースのお手本となる取り組みがありました。
五十崎自治センター	5	適切な施設利用を図るため、夏の期間、子ども向けに空き室を一室開放した結果、クールシェアとなりました。夏の実施結果を踏まえて冬にもウォームシェアとして実施し、施設利用の適正化とともに環境に配慮した取り組みが継続できていました。次年度以降にも繋がる素晴らしい取り組みです。
立川小学校	2	暖房は、10℃以下で使用開始し、20℃以上で停止することにより、灯油の利用が昨年度より減少となりました。また、水道の漏水防止のため、管理職が定期的に施設・プールの水道メーターのチェックを行っています。

		ごみ分別は、ごみ箱を2種類設置。張り紙をし、教職員・児童共に分別の徹底を図っていました。また、紙は、印刷前に入念なチェックを行い、無駄をなくし、併せて、デジタル化（PCでデータ共有）を進めていました。 水生生物・バードウォッチングなど、活動内容や成果を、学習発表会を通じて、地域、保護者へ報告し、学年単位での取り組みもあり、壁新聞などで情報を共有していました。
	5	学校教育協議会、環境部会を中心に、空き缶の回収を地域へ広く呼びかけ、保護者に限らず誰でも持ってくることができ、地域ぐるみで空き缶を回収できました。学校、自治会、地域が一体となった活動に繋がっており、その収益は子ども会の活動費に充てられていました。
天神小学校	2	地域と連携して柿原川蛍観察会、棚田の田植え、小田川の生物調査、野鳥観察、スキー教室など、全学年で積極的に校外活動を行い、自然と触れ合い、親しむ場を設けていました。 また、アルミ缶回収を改めて地域に回覧で呼びかけ、今年度回収量が大幅に増加。収益金をパンジーや遊具購入に充て、好循環を生んでいました。 1, 2年生で実施している校内エコ見回りを来年度は全学年に広げる予定で、より高い目標で取り組む姿勢が全体的に見受けられました。
	8	校長ご自身が自然のことが大好きで、自然の美しさや神秘性を子どもたちに感じてほしいという思いで、アサギマダラという蝶が集まるフジバカマを校庭に植えて、アサギマダラが実際に飛んできました。子どもたちの自然を愛する心を育むユニークな取り組みだと思います。天神小のシンボルになってほしいです。
みどり苑	6	施設の性質上、入居者の健康管理が大優先のため、冷暖房の制限は難しいなか、LED化が去年12月に施設全体で完了し、今後の電気消費量の削減が期待できます。 冷暖房はボイラーで灯油を利用していますが、令和元年に設備を更新した際にはBDFの検討も行うなど、設備改修時に都度、環境配慮の可能性を検討し、前向きな姿勢が見受けられました。
	9	職員用の昼弁当は、リユース弁当箱を使用する業者から納品。私的なごみを持ち帰ったり、エコバック・マイボトル持

		参したり、スーパー等の過剰包装を控えて、日頃からエシカル消費を心掛けたりするなど、職員全員が環境に関心を持ち、意識と行動の向上に繋げていました。
事務局	7	各部署からの四半期ごとの電気・燃料等の使用量の報告方法について、メールでのやりとりから共有フォルダへの直接データ保存へと提出方法を変更されていました。 提出遅れの確認がしやすくなるほか、個別部署とのやり取りにかかる事務負担の軽減など、集約にかかる正確性と効率性の向上を狙いとしています。 細かい部分ですが、改善に向けた姿勢と工夫を評価します。

③ 改善要望事項（△）

部署名	設問	評価理由
神南荘	7	マネージャー会議、学習会を欠席していましたが、送った資料を部署内で回覧できていませんでした。業務多忙で厳しい状況でも、情報は共有していただきたいと思います。

④ 部署別全体評価

部署名	全体評価
推進本部	ゼロカーボンシティ宣言は純粋に評価したいと思います。 ただ、宣言から約1年近く経過した時点で具体的な内容が見えてきていないのは、もどかしく感じます。現時点では対策の内容を調整中であると思われるので、令和6年度の環境基本計画後期目標の発表とともに大いに期待していますし、同宣言の情報を町民としっかり共有していただきたいです。エネルギーの地産地消にも言及されましたが、これについても（とりあえずエリアを決めて実現を）楽しみにしています。
総務課	OA機器の省エネ化やペーパーレス化を率先実行して、スマートオフィス化を推進。EVや電動自転車の計画的導入や、景観行政の地道な啓発で実績を積み上げるなど、着実に総合計画と環境基本計画を実行していました。 また、環境保全とSDGsを意識した次期総合計画の策定に尽力し、広い視野で日々業務に取り組んでいました。
会計課	出来ることに限りがある中、会議や学習会資料を回覧や口頭説明で共有し、意識啓発に取り組んでいました。 特に、ゼロカーボンシティ宣言を目につくところに貼ったり、愛媛県小中高生の環境啓発コンクール入賞作品を回覧したりし

	て、とても工夫されていました。 地域の農村景観を守っていくため、自治会での活動の話も聞くことができ、環境保全の意識の高さが伝わってきました。
住民課	業務内容から環境に取り組む範囲に限られる中、転入者に対するエコロジータウンうちこの紹介を継続し、リユース・リサイクル封筒 100%の活用によって、窓口業務を通じて、環境の取り組みを、町民へ伝えていました。出張、研修時に、本庁と出先職員が協力して公用車の乗り合わせを徹底していることも基本に忠実でした。
うちこ福祉館	職員は新聞紙を再利用してのガラス窓拭きや、施設の外回りの掃き掃除を毎日実施し、工夫して環境美化に尽力。また、施設利用者も、えひめ AI-1 の高い利用率や、廃油やペットボトルのキャップの回収の協力など、意識が高く協力的に取り組んでいました。職員と利用者が一体となり、環境保全・整備活動に取り組んでいる地域全体の意識と実行力の高さを感じました。
保健福祉課	職員全体がシュレッダーの徹底など、ごみの削減に向けて前向きに取り組んでいました。 中心となる課長、推進員の環境意識が高く、調査システムを導入し、入力の手間やコスト・紙の削減を図り、さらに、現在のシステムだけでなく範囲をさらに広げることも検討していました。 独自目標については、現在の良好な達成状況を踏まえ、次年度はさらにランクアップした内容を設定し、より高いレベルでの取り組みを期待します。
保健センター	全員参加のセンター会の成果もあり、職員 11 名全員が同じ意識を高い水準で保っていました。 エコバック推進や食材を無駄なく活用するなど、職場で実践していることを全職員が私生活にも取り入れられていて他の模範となる取り組みでした。
建設デザイン課	目標を時計の下や照明スイッチの横など、毎日、目に入るところに掲示していました。基本計画の数値達成には外部協力も必要なため難しいところではありますが、達成に向けた前向きな姿勢が見られました。 全体的に環境と深く関わる業務の部署でもあり、環境に対する幅広い知識と見解が印象的でした。
町並・地域振興課	従来通り環境について取り組んでいく中で、現状踏まえた内容の検討も行っていました。 基本計画の数値達成には外部協力も必要なため難しいところではありますが、達成に向けた前向きな姿勢が見られていました。
自治・学習課	コロナの影響で派遣事業が出来なかったため、広報に別の形で環境先進国ドイツの取り組みなどを紹介していました。 文化創造センターの LED 化を行った結果、電気使用量、料金とも減少し、浮いたコストでリース料を賄ったり、新設の大瀬自治センターも環境配慮の省エネで施行予定であったり、ハード事業

	の配慮が素晴らしかったです。
議会事務局	タブレットの 100%導入はなかなか難しい実情があるが、目標として 100%を目指す前向きな姿勢が見られました。 ごみの削減や紙のリサイクルに向けて、使用済みの付箋を一括収集する箇所を設けるなど、推進員が率先して職員の意識を向上させるために取り組んでいる様子が見られました。 また、リユース弁当箱取扱い業者の利用を継続して実施できていました。
五十崎児童館	1 年を通して環境学習のレベルを高水準でキープしていました。工作に利用する端材も適切に保管・管理されています。 施設内で完結せず、自治体・企業などとの積極的な活動連携、住民への資源ゴミ回収の呼びかけが行えている模範となる取り組みでした。
内子東自治センター	コロナ禍でも続けてきたリユースをテーマにしたフリーマーケットにたくさんの参加者が集い、古本を集めた図書コーナーの開設など、さらにリユースの輪を広げられた 1 年にできたことは大変素晴らしいと思います。 町民の協力が必要な部分が多いため、張り紙などを多く配置し広く周知も行っていました。
五十崎自治センター	自然観察（野鳥、水生生物等）や環境学習会、廃棄される段ボールの再利用などが、自然環境からの学び、ものづくりの五十崎をコンセプトとして継続的に実施されていることがよく分かりました。小田川や周辺の山々など自然に恵まれた立地条件を生かして、地域に寄り添った事業を継続して実施できていました。
内子小学校	以前から、町内の学校施設をリードする取り組みでしたが、「職場インタビューとエコ見回り」を自主的に継続されるなど、環境団体だけでなく、コミスクの委員や地域コーディネーター等と連携して、地域一体の環境学習や活動を全校で実施しており、模範となる取り組みです。 また、ごみ箱にごみ持ち帰りの啓発の蓋をするユニークな取り組みで、持ち帰りが徹底され、先生方の意識とマナーも素晴らしかったです。
立川小学校	活動の内容や成果報告の方法（壁新聞など）から、子どもたちが楽しみながら環境を学べる取り組みが行なえていると感じました。 全体的な印象として、地域の方々と一緒に子どもたちを育てるといった校風を感じました。
天神小学校	豊かな自然や地域資源を生かして、地域の人材と連携し、全学年で環境に関する校外学習、課外活動を多彩に展開。継続していたアルミ缶回収を地域への回覧再周知により、回収量を増大し、

	収益金を有効活用。好循環と地域との連携の良さを感じました。 また、1、2年生にエコ見回りを実施し、児童主体の取り組みを全学年に広げる予定もあり、児童に自然を愛する心を育てほしい校長の思いや、推進員のリーダーシップで非常に質の高い取り組みを地域ぐるみで行っていました。
みどり苑	特養等の施設であり、コロナ対応により制限された活動の中、環境活動は従来どおりの取り組みが行えていました。 これらの活動が、職員の意識啓発や行動にも繋がっていると感じられました。
神南荘	厨房から出る廃食油を地元 NPO 法人に回収していただき、すべて BDF 燃料として地域内使用に回してもらっていました。来訪者のアイドリングストップの協力要請が徹底されるなど、地域や施設利用者とも連携が図られていました。
事務局	システムの運用方法に関して確認しましたが、取り組み方法は適切でした。 一方で、脱炭素に向けた各部署との連携強化等の今後、より必要とされる課題や、エネルギー消費量報告の即時可視化等の以前から検討されているものの解決策を模索している課題もあります。 引き続きあきらめずに検討し、改善策を見出していきたいと思います。

[参考] 対象部署一覧

NO.	区 分	部 署 名 等
1	推進本部	町長
		副町長
		教育長
2	実行部門	総務課
3		会計課
4		住民課
5		うちこ福祉館
6		保健福祉課
7		保健センター
8		建設デザイン課
9		町並・地域振興課
10		自治・学習課
11		議会事務局
12		五十崎児童館
13		内子東自治センター
14		五十崎自治センター
15		内子小学校
16		立川小学校
17		天神小学校
18		みどり苑
19		神南荘
20	事務局	環境政策室